

 <p>口之津小学校 学校だより</p> <h1>希望の丘から</h1> <p>希望の丘で本物の口之津っ子を育てます。</p>	<p>令和5年 12月 22日</p> <p>5年度 第12号</p> <p>校長 本村 英治</p>
	<p>学校だより「希望の丘から」タイトルは、校歌の歌詞「希望の丘の学舎は」から採用しました。口之津っ子の成長をお伝えしていきます。</p>

充実した活動と成長を3学期につなげる 第2学期終業式

本日12月22日（金）第2学期の終業式を行いました。「チャレンジする2学期」のスローガンで、充実した活動と成長があった2学期でした。

2学期は生活科や総合的な学習の時間を中心に、学びの場を地域に広げ、多くの皆様の協力を得て豊かな学びができました。



1年生は「あきとともにだちになろう」で地域の自然とふれあい、2年生は「口之津の人に会いたいな」で町、人に親しみました。3年生は「口之津のすてき探し」で町の新たな発見をし、4年生は「貝瀬川調査」から始まった環境学習を行いました。5年生は「ふるさとの海、再発見」では口之津の海のすばらしさを学んでいます。6年生は「ふるさと口之津ヒストリア」で世界遺産見学や原田建夫先生から学んだ地域のすばらしさを発信しようと劇を創り上げました。このほか、修学旅行や集団宿泊活動といった行事も充実したものとなりました。

私が嬉しく感じたのは、これら学習活動に向かう子どもたちの生き生きとした眼や姿です。ここ数年、校外での体験的な活動が制限され、このような機会や学ぶ喜びを味わわせていなかったと改めて感じました。そして、環境を整えれば、子どもたちは自ら動き出すことも感じたところです。**協力いただいた保護者や地域の皆様の温かい支援や言葉も力になりました。3学期もこのチャレンジは続きます。必ず子どもたちの成長につなげていきます。**

2学期も活動中のけがやインフルエンザの拡大はありましたが、生命の危険を伴うような重大な事故は防ぐことができました。このことが何よりです。引き続き冬季休業中も子どもたちの安全についてご配慮をお願いします。

1月主な予定



1月1日	元日 学校閉庁日（～3日） 委員会活動	16日	クラブ活動（3年見学）
9日	第3学期始業式	17日	書初め展（～19日）
11日	委員会活動	18日	授業参観（4、5、6年） メディア学習 （5、6年生と保護者）
12日	ふるさと教育研究推進事業 業中間発表（全学年欠課）	19日	授業参観（1、2、3年） 食育の日
14日	家庭の日	23日	給食集会・代表委員会



児童会が赤い羽根共同募金を寄付

児童会が毎年取り組んでいる赤い羽根共同募金ですが、各御家庭においてご協力をいただきました。ありがとうございました。

この募金の趣旨に賛同し、子どもたちが寄付してくれた募金は、総額 **11,999円** になりました。

運営委員会が代表して南島原市社会福祉協議会へお渡ししました。自分の立場を中心に考えがちな風潮や海外の情勢だからこそ、友



達や周りの人を思いやることがいかに尊いか改めて思います。募金は、その思いやりの一つの「かたち」です。子どもたちが、少しでも「役に立ちたい」という考えをもてたならば、それは誰かのための募金以上の価値があると考えます。

ぜひ大切に使用していただきたいと思います。

あったか言葉・あったか行動で楽しい学校を 人権教育強調月間



これも児童会の活動ですが、12月の人権週間に合わせて、「あったか言葉・あったか行動を増やそう」という取組を全校で行いました。それらの言葉や行動は、見えなかったり過ぎ去っていったりするものですから、全員に見える形で共有できるよう「あったか山」にカードで残しています。

各学年のあったか山には、たくさんのカードが山に貼られ、「がんばっているね」「ありがとう」「うれしいよ」「これからもよろしく」などの言葉があふれ

ていました。見ていてとても嬉しくなりますし、こんなよさがあったのかと発見もあります。子どもたちもきっと同じでしょう。見つけること、書くこと、読むことで自分や友達を大切に作る心が育ってほしいと思います。

今年の教育活動へのご支援、ありがとうございました

令和5年が終わろうとしています。今年の本校の教育活動に対し、保護者の皆様と地域の皆様のご支援をいただき、充実したものになったことに深く感謝いたします。これらは皆様のご理解がなければ推進できなかったと考えています。新しい年もよろしく願います。

私は、この9月にお休みをいただいて病気の治療をしましたが、入院中にポジティブ心理学の本を読みました。その本に次の言葉を見つけたので、ご紹介いたします。

「いい子をもつ幸運な親には、いい親をもつ幸運な子どもがいる」ブリューワー

幸せを感じ健やかに育つ子どもには、その健やかな成長のために本当に必要なことを見極め、時には見守り育てようとする親がいます。口之津っ子には、全員幸せになってほしいと願います。家庭ではもちろん「親」保護者ですが、その言葉の代わりに、「学校」や「地域」という言葉も入れて考え、変わっていききたいものです。

いろいろあった1年でしたが、来年はきっと、もっとよい年になると信じています。冬休みは、どうぞ御家庭で幸せな時間を過ごしていただき、新しい年でも「同じ子どもを育てるチーム」の一員として、引き続きご協力をお願いしたいと思います。よいお年をお迎えください。

